

日赤病院の改築完了

駐車場、玄関の利用開始

安曇野赤十字病院（安曇野市豊科）の病棟改築工事が終わり、新たに整備された病棟東側の駐車場や正面玄関の利用が11日に始まった。

20年10月から約2年間かけて進められた工事はこれで全て完了し、病院が生まれ変わった。完成を祝う式典は3月に開く。

昨年7月に診療を新病棟に移行した後、旧病棟



旧病棟部分に駐車場が整備された

新しい駐車場は有料で、外来患者は1回100円、

の撤去や跡地への駐車場整備、正面玄関の建設を進めてきた。駐車場は病棟東側と北側を合わせて

301台分あり、旧病棟当時より100台分ほど広くなった。正面玄関には2階まで吹き抜けの待合スペースがあり、催しなどの際にはイベントホールとしても使用する。

椅子介助員2人を新たに配置し、30分以内は無料となる。利便性向上を図った。

（高石雅也）

新病棟は鉄筋コンクリート6階建て延べ2万2,000平方メートルで、全館免震構造となって

いる。総事業費は約87億8,000万円で、国、県、関係市町村から計約46億円の補助を受け